

製品名: FX ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11191**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	TSTA3 TSTA3; SDR4E1; GDP-L-fucose synthase; GDP-4-keto-6-deoxy-D-mannose-3; 5-epimerase-4-reductase; Protein FX; Red cell NADP(H)-binding protein; Short-chain dehydrogenase/reductase family 4E member 1
別名	
遺伝子 ID	7264.0
SwissProt ID	Q13630
免疫原	抗血清はヒト TSTA3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

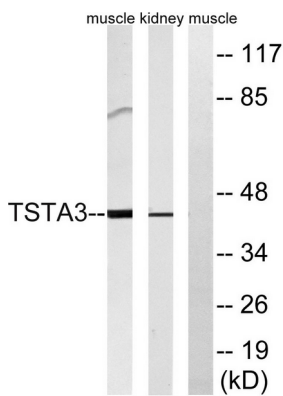
背景

組織特異的移植抗原 P35B は NADP(H)結合タンパク質です。GDP-D-マンノース代謝における 2 段階エピメラーゼ反応および還元酵素反応を触媒し、GDP-4-ケト-6-D-デオキシマンノースを GDP-L-フコースに変換します。GDP-L-フコースは、血液型 ABH 抗原や発達性接着抗原など、多くの複合糖質の発現に関与する複数のフコシルトランスフェラーゼの基質です。この遺伝子の変異は、白血球接着不全症 II 型を引き起こす可能性があります。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: GDP-L-フコース + NADP(+) = GDP-4-デヒドロ-6-デオキシ-D-マンノース + NADPH.,機能: エピメラーゼおよび還元酵素反応を伴う、GDP-4-デヒドロ-6-デオキシ-D-マンノースから GDP-フコースへの 2 段階 NADP 依存変換。経路: ヌクレオチド糖生合成; de novo 経路による GDP-L-フコース生合成; GDP-D-マンノースから GDP-L-フコース: ステップ 2/2。類似性: フコース合成酵素ファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。 ,

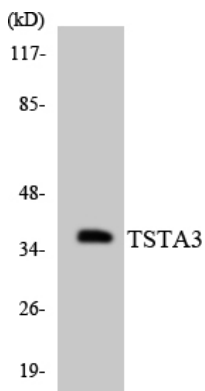
研究分野

フルクトースおよびマンノース代謝;アミノ糖およびヌクレオチド糖代謝;

画像データ



TSTA3 抗体を用いたラット腎臓細胞およびラット筋細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TSTA3 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。